第１学年　国語科　学習指導案

解決したい授業力の課題

自分のこれまでの授業を見直したとき，「新潟市の授業づくり」リーフレットにある５つの視点の中で，「ねらいを明確にし，事実に基づいて達成状況を評価する（ねらいと評価）」という視点が課題であると思った。私自身が単元のねらいを明確にし，それを意識しながら授業をすることで，生徒にとってより具体的でわかりやすい課題を提示できると考える。

またワークシートへの記入を通して，生徒たちの達成状況を確実に見取り，評価していく。

１　単元名（題材名）　いにしえの心にふれる（蓬莱の玉の枝－「竹取物語」から－）

２　単元（題材）の目標

学習指導要領には次のように示してある。

【第１学年　「読むこと」の目標】

目的や意図に応じ，様々な本や文章などを読み，内容や要旨を的確にとらえる能力を身につけさせるとともに，読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

【第１学年　伝統的な言語文化に関する事項】

文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文や漢文を音読して，古典特有のリズムを味わいながら，古典の世界に触れること。

これらのことから，ここでの学習を通して目指す生徒の姿を以下のように設定した。

○登場人物の心情や行動に注意して読み，物語の内容の理解を深める。〔C（１）ｳ〕

○歴史的仮名遣いを知り，古文をすらすらと音読できる。〔ア（ア）〕

３　単元（題材）の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・古典の文章の内容や表現に関心をもち，進んで音読しようとしている。	・登場人物の心情や行動に注意して読み，内容の理解を深めている。	・歴史的仮名遣いや現代とは意味の違う言葉を知り，古文を音読して，古典特有のリズムを味わいながら，古典の世界に触れている。

４　単元（題材）と指導の構想

（１）単元（題材）と生徒

「蓬莱の玉の枝」は，「竹取物語」全体をまとめ上げる形になっている。「翁」が竹の中から女の子を得るという物語の冒頭部分と，くらもちの皇子の冒険談，そしてかぐや姫昇天後の帝の行動を描いた物語の最後の場面を載せている。「かぐや姫」の話として断片的に知

っていた生徒たちも全体像をつかむことができる。

中学校に入学して初めて古典の文章と向き合うことになるが，「かぐや姫」の話として理解しやすく，１年生にふさわしい題材であると言える。また，「竹取物語」は現存する日本最古の物語として有名である。この約1200年前に記された文章に触れることで，新鮮さとともに誇らしさを感じとらせる。

（２）指導の構想

中学校に入学してから今までの学習の中で，「にじの見える橋」と「星の花が降るころに」という２つの物語を読んできた。どちらも中学１年生を主人公とした身近な話であり，生徒たちは自分と重ね合わせながら興味深く読んでいた。表現や情景描写から，登場人物の心情の変化を読み取る学習を中心に行ってきた。今回の古文においても，登場人物の心情の読み取りを行うことで，内容の理解を深める一助とする。

読み取りの手だてとして，以下の４点を行う。

①物語の背景となる当時の様子を知るため，図版等の資料を活用する。

②音読の練習をたくさんさせ，古文のリズムに慣れさせる。

③登場人物の心情について想像する。

④意見交流の場を作ることで，多様な考え方に気付かせる。

５　単元（教材）の指導計画　（全７時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評価			
		関	読	言	評価規準
1	○今後の学習の流れを確認する。 ○「竹取物語」のあらすじをつかむ。 ・図版等を見て当時の様子を具体的にイメージする。〔手だて①〕 ○物語の冒頭部分を読み，古文のリズムに親しむ。 ・冒頭部分を繰り返し音読する。〔手だて②〕	○			・古典に描かれる世界や古文に興味や関心をもち，進んで音読している。
2	○冒頭部分の内容を理解する。 ・繰り返し音読する。〔手だて②〕 ・歴史的仮名遣いについて確認する。 ・冒頭部分を暗唱する。〔手だて②〕 ・子どもを授かった翁たちの気持ちを考える。〔手だて③・④〕	○		○	・進んで音読を繰り返し，暗唱に挑戦している。 ・歴史的仮名遣いを理解している。
3	○「くらもちの皇子」の冒険談の部分を読み，話の展開をとらえる。 ・繰り返し音読する。〔手だて②〕 ・現代語訳と照らし合わせて読む。 ・計略が失敗したことを確認し，作り話の巧みさに気付く。〔手だて③〕		○	○	・話の内容のあらましをとらえ，展開のおもしろさを味わっている。

4	○４人の貴公子による求婚の場面を読み，話の展開をとらえる。 ・「くらもちの皇子」以外の４人の貴公子にまつわる話を読み，結末を確認する。 ・５人の貴公子の話を読み比べ，かぐや姫の結婚相手としておすすめできるところ，できないところを本文（または現代語訳）から探す。〔手だて③〕		○		・話の内容のあらましをとらえ，展開のおもしろさを味わっている。 ・登場人物の言動を注意深く読んでいる。
5 本 時	○５人の貴公子の話を読み比べ，かぐや姫におすすめの結婚相手は誰かを考える。 ・ワークシートを用いて根拠と理由付けをしっかり書けるようにする。 ・班による意見交流を行う。〔手だて④〕		○		・意見交流を通して内容の理解を深めている。
6	○かぐや姫の昇天から最後までを読み，登場人物それぞれの思いをとらえる。 ・繰り返し音読する。〔手だて①〕 ・かぐや姫と翁たちの別れの悲しみを想像させる。〔手だて③・④〕 ・帝の言動から帝の気持ちを考える。〔手だて③・④〕	○	○		・登場人物のものの見方や考え方を読みとっている。
7	○登場人物と，現代の人々の考え方を比較してまとめる。 ・全体を読み返し，歴史的仮名遣いや言葉の意味を確かめる。 ・人々の思いや行動など，現代に通じるところを考える。〔手だて③・④〕		○	○	・歴史的仮名遣いや古語と現代語の意味の違いについて理解している。 ・登場人物のものの見方や考え方をとらえ，自分のものの見方や考え方を広げている。

6　本時の計画（５時間目 / 全７時間）

（１）本時のねらい

○「５人の貴公子の中でかぐや姫の結婚相手としてもっともふさわしいのは誰か」について，根拠と理由を明らかにして自分の意見をもつことができる。

○意見交流を通して，自分の意見が強化されたことや他の人の意見を聞いて共感したことを書くことができる。

（２）本時の構想

前時までの学習で，５人の貴公子に課せられた難題とそれに対しての結末を読み，かぐや姫の結婚相手としておすすめできる点とできない点を本文または現代語訳の中から探し出す作業をしている。

本時のねらいを達成するための手だてとして，５人の話の原文と現代語訳や，当時の絵巻を配付し，自分の考えの根拠となる部分をきちんと探せるようにする。また，班および全体での意見交流を通して，多様な考え方があることに気付くことで，上辺だけではない物語のおもしろさを味わうことができるのではないかと考える。

（３）本時の展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される生徒の反応	■評価 ○留意点
導入 １漢字練習・ミニテストをする。 ２前時までの学習内容を振り返り，物語の内容を確認する。 ３本時の流れを知る。	今日の漢字９問テストをする。 Ｓ１：集中して漢字練習をする。ミニテストに取り組む。 音読の練習をする。 Ｔ１：冒頭部分は一斉読み，冒険談の部分は後追い読みで１回ずつ読みましょう。 Ｓ２：音読している。 ５人の貴公子の言動について考えよう	○歴史的仮名遣いの箇所を正しく読めているか確認する。
展開 ４　５人の貴公子の話を読み比べる。	５人の貴公子の中で，かぐや姫におすすめの結婚相手は誰か。 Ｔ２：５人の貴公子がかぐや姫にプロポーズしていますが，みんなが翁と嫗の立場なら，どの人をかぐや姫におすすめしますか。 Ｔ３：前時で決めた自分のおすすめの人が同じ人同士で座り直してください。そのグループ内で，かぐや姫を納得させられるように，おすすめな点はどこかを意見交流します。 Ｔ４：班の中で出てきた意見をまとめて，記録の人はおすすめする理由をワークシートに書き込んでください。 Ｔ５：おすすめする人とその理由を発表してください。（代表者に発表させる。） Ｓ３：「石上鷹足」をおすすめします。理由は，人任せにせず，自分で取りに行ったからです。 Ｓ４：「阿倍御主人」をおすすめします。理由は，経済力があるからです。 Ｓ５：「大伴御行」をおすすめします。理由は，かぐや姫のために，離婚し家を新築までしたか	○すぐに座れるように座席を指定する。 ■自分が考えた根拠と理由を明確にして意見交流をしているか。 ○班に一枚ワークシートを用意する。

	らです。	
終末 ５　１時間の活動を振り返る。	Ｔ６：みんなの意見を聞いて考えたことを書いてみよう。 Ｓ６：〇〇さんの意見を聞いて，「なるほど！そういう考え方もできるのか」と思った。 Ｓ７：〇〇さんはこう言ったけど，やっぱり私はこうだと思う。 Ｓ８：同じ人の言動でも，いろいろなとらえ方ができるんだなあと思った。	■友達の意見を聞いて，内容の理解を深められたか。 （ワークシート）

（４）本時の評価

〇根拠と理由を明らかにして自分の意見をもてたか。〔ワークシート〕

〇意見交流を通して，自分の意見が強化されたこと，他の人の意見に共感したことを書くことができたか。〔ワークシート〕

７　参考文献

〇「思考力を高める授業～作品を解釈するメカニズム～」 佐藤佐敏 （三省堂）

〇「思考型読解力を育む授業の一考察～中学校１年「竹取物語」の授業取材を通して～」
西　俊六（盛岡大学紀要　第２４号）

〇「第１学年　学習指導案」木原まゆみ　（熊本県中学校教育研究会　国語部会）

〇「竹取物語　伊勢物語　大和物語　平中物語」　新編日本古典文学全集１２

〇「現代語訳　日本の古典４　竹取物語・伊勢物語」田辺聖子（学研）

〇「絵で読む日本の古典１　竹取物語」（ポプラ社）